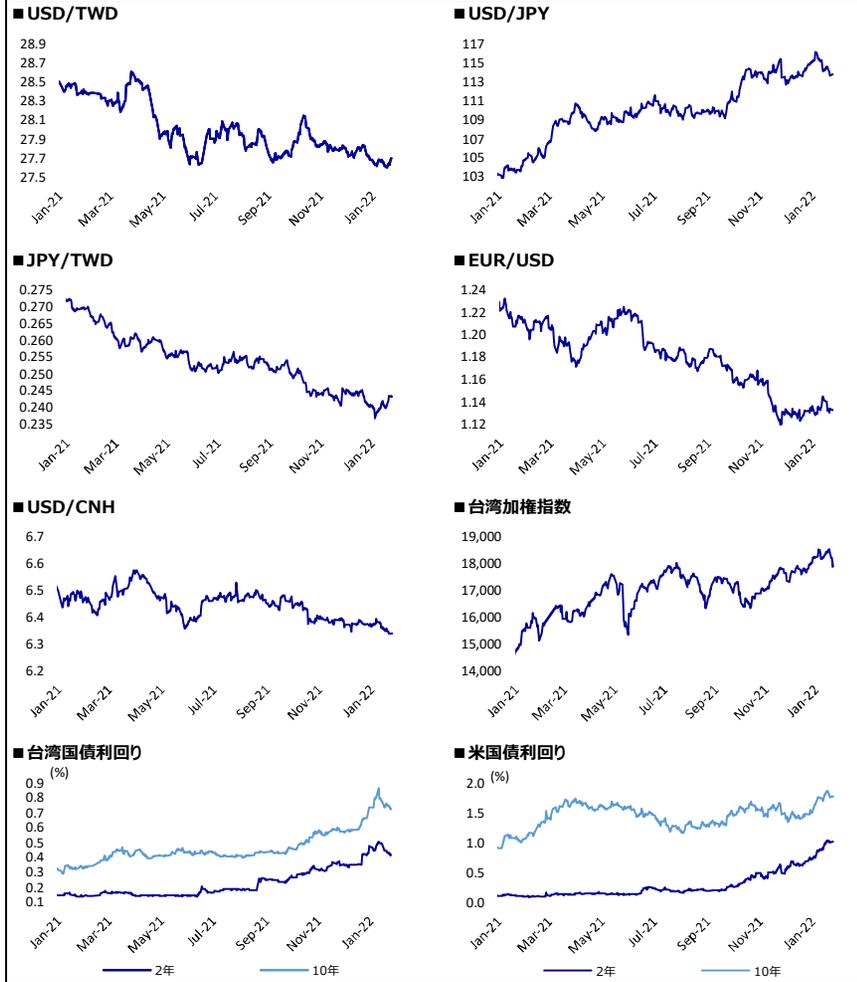


市場動向



先週の市場動向

**■ USD/TWD**  
先週のドル/台湾ドルは上昇。週初1/17は27.630でオープン後、台湾株が上昇する中、外国人投資家の台湾ドル買だけでなく輸出企業のドル売りが入り、27.55付近まで下落。1/18も台湾株が上昇したことから、一時27.535まで下落したが、27.500を前に底値は堅かった。その後、米長期金利が上昇すると台湾株も嫌気して下落に転じると、27.62付近まで上昇した。1/19も米金利の上昇を受けて世界的な株安となる中、台湾株も下落したが、春節を前に輸出企業のドル売りが入り、ドル台湾ドルの相場は小動きに。1/20も外国人投資家の台湾ドル売りで輸出企業のドル売りによみみ合う展開となったが、1/21は外国人投資家の台湾ドル売りが加速。台湾加権指数が18,000ポイントを下回る中、一時27.734をつけた。1/22は土曜営業日で動意に乏しく、最終的には先週比0.3%ドル高台湾ドル安の27.700で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式売り越し額は479.7億台湾ドル。

**■ USD/JPY**  
先週のドル/円は下落。週初1/17は114.16でオープン後、株式市場の堅調な推移や前週末にかけてのドル売りの反動から114円台半ばまで上昇したが、米国休場の中動意薄の展開に。1/18は日銀の金融政策決定会合で予想通り物価見通しが引き上げられたものの、一部で期待されていたタカ派への政策変更はなかったことから円は売られ、一時115.06まで上昇。しかし、米金利の上昇を嫌気した米株式市場の軟調推移や1月NY連銀製造業景気指数の急低下等で再び114円台半ばに戻した。1/19もリスクオフの流れから114円台前半に下落し、揉み合いに。1/20は米金利低下で下落するとドル円も一時114円を割ったが、その後は米金利の下落も落ち着き114円台前半で推移。1/21は米長期金利の低下や日経平均の急落からリスク回避で円が買われると113円台後半に下落したが、日経平均が下げ幅を縮小させると円買いは一巡した。しかし、海外時間に入ると株安の流れとなると再び円は買われ一時113.60まで下落。その後も上値が重い展開が続き、最終的に先週比0.4%ドル安円高の113.69で先週の取引を終了。

今週の見通し

**■ USD/TWD 予想レンジ：27.520-27.720**  
先週は米金利の上昇を嫌気した世界的な株安の流れから台湾株も売られたため、台湾ドルに売りが入った。今週はFOMCを控えているが、FOMC後には米金利の上昇は一旦落ち着くと見込み、春節を前に輸出企業のドル売りから台湾ドル高となるであろう。

**■ USD/JPY 予想レンジ：113.00-115.00**  
先週は米金利の上昇からリスクオフの流れとなり、円が買われたが、米金利が低下した場面でも金利差を意識された円買いも入った。今週はFOMCを控えており週前半は様子見ムードが強まると見込む。しかし、FOMC後は利上げ期待から急上昇した米金利が落ち着くと見込んでおり、ドル円の底値は堅いと見込む。

今週の予定

1/24 (MON)	米12月PMI
1/25 (TUE)	米1月消費者信頼感指数
1/26 (WED)	FOMC
1/27 (THU)	台湾Q4GDP速報値、米12月耐久財受注、米Q4GDP速報値
1/28 (FRI)	米12月個人所得・支出

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。